

二次配布・加工禁止

The Financeオンラインセミナー

生成AI×金融変革

～DXから「AX : AI Transformation」への変化～

EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社

金融サービス・ストラテジー

パートナー 藤田 通紀

2024年8月28日（水） 12:00～12:30





Agenda

1.生成AI×金融変革（AX：AI Transformation）とは何か

2.生成AIの最新動向と革新

3.金融業界における生成AIの実践と導入戦略

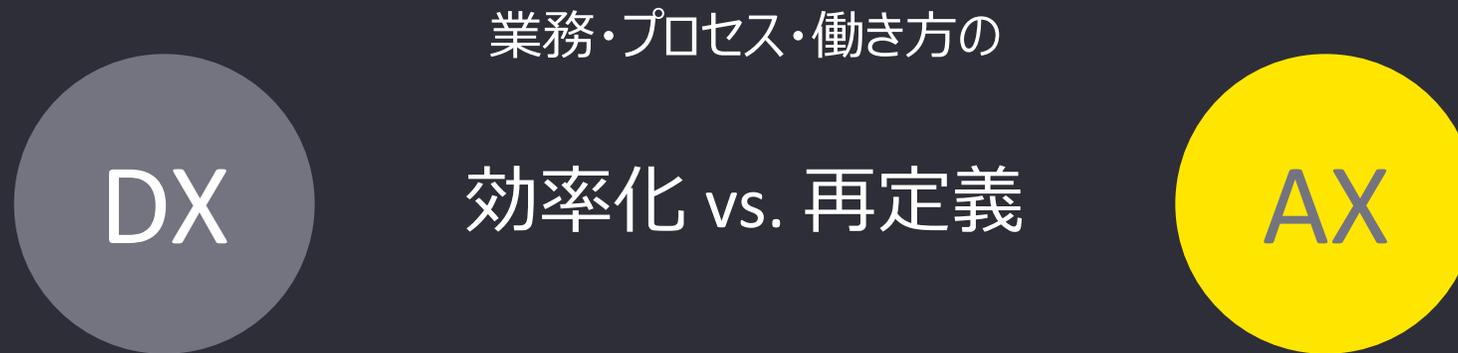


生成AI×金融変革 (AX : AI Transformation) とは何か

- AX Impact

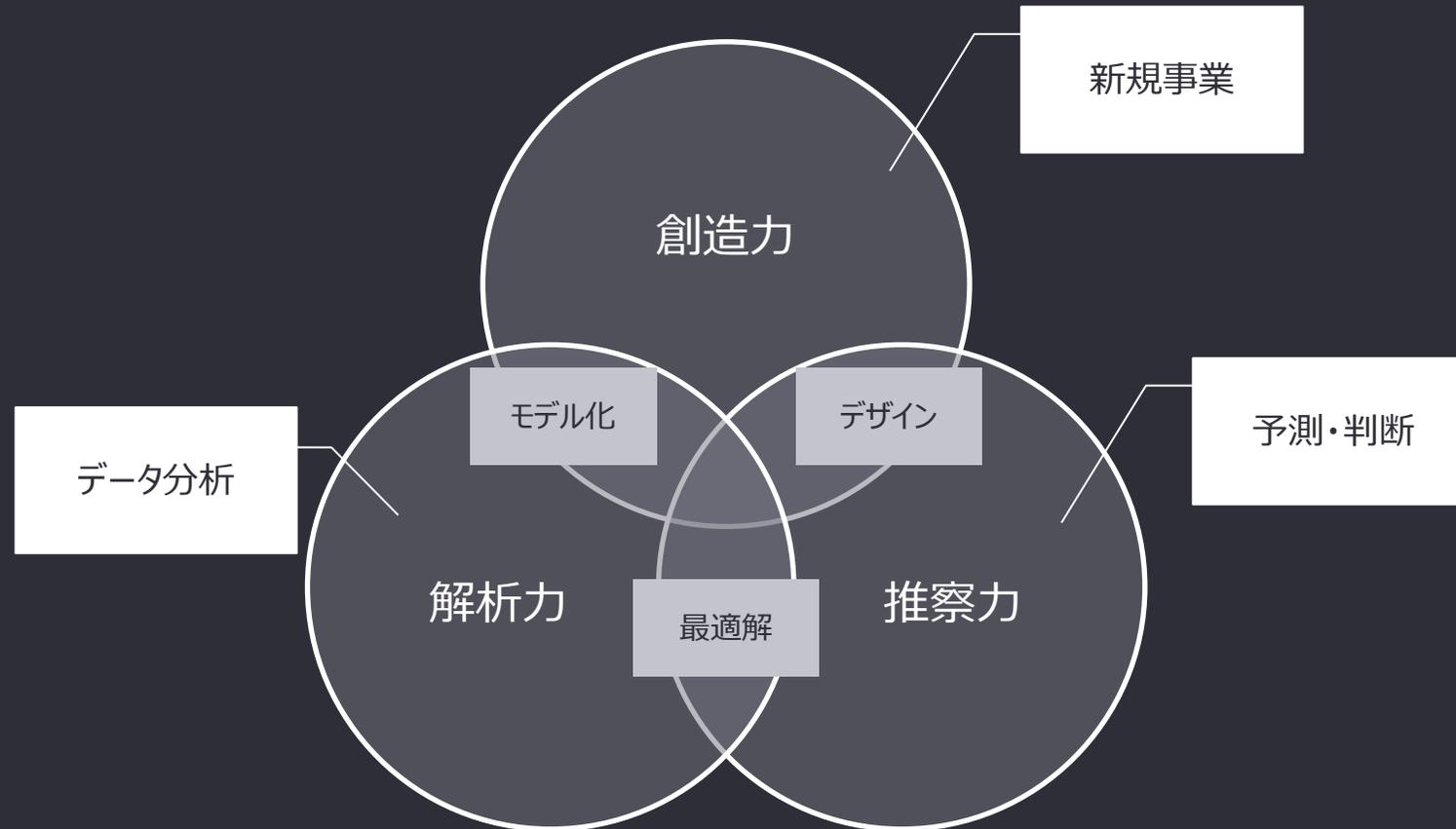
（1）コンセプトの導入

①金融変革（AI Transformation）の意義と目標



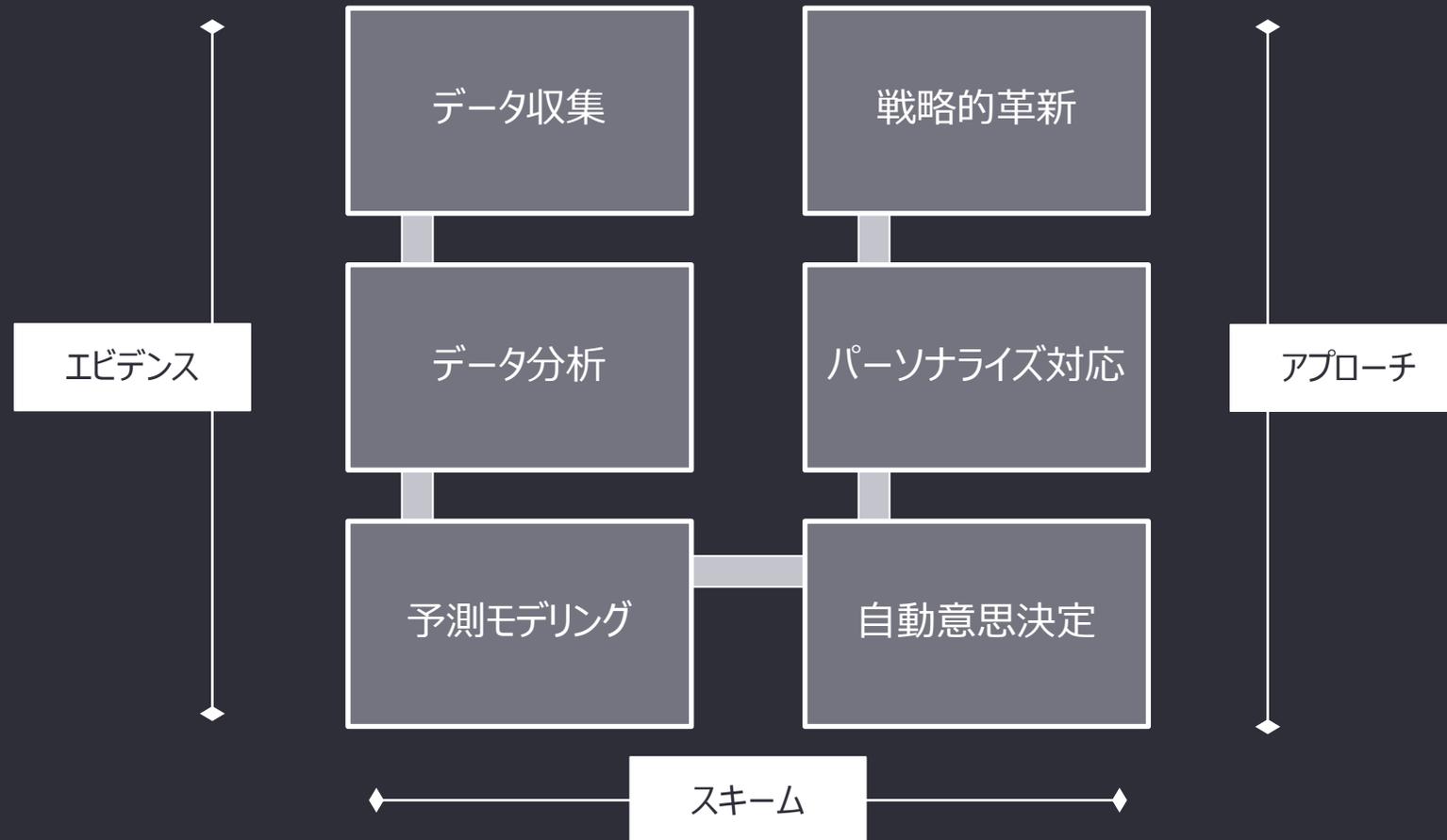
(1) コンセプトの導入

② 生成AIと金融変革のシナジーによる新たな価値創造



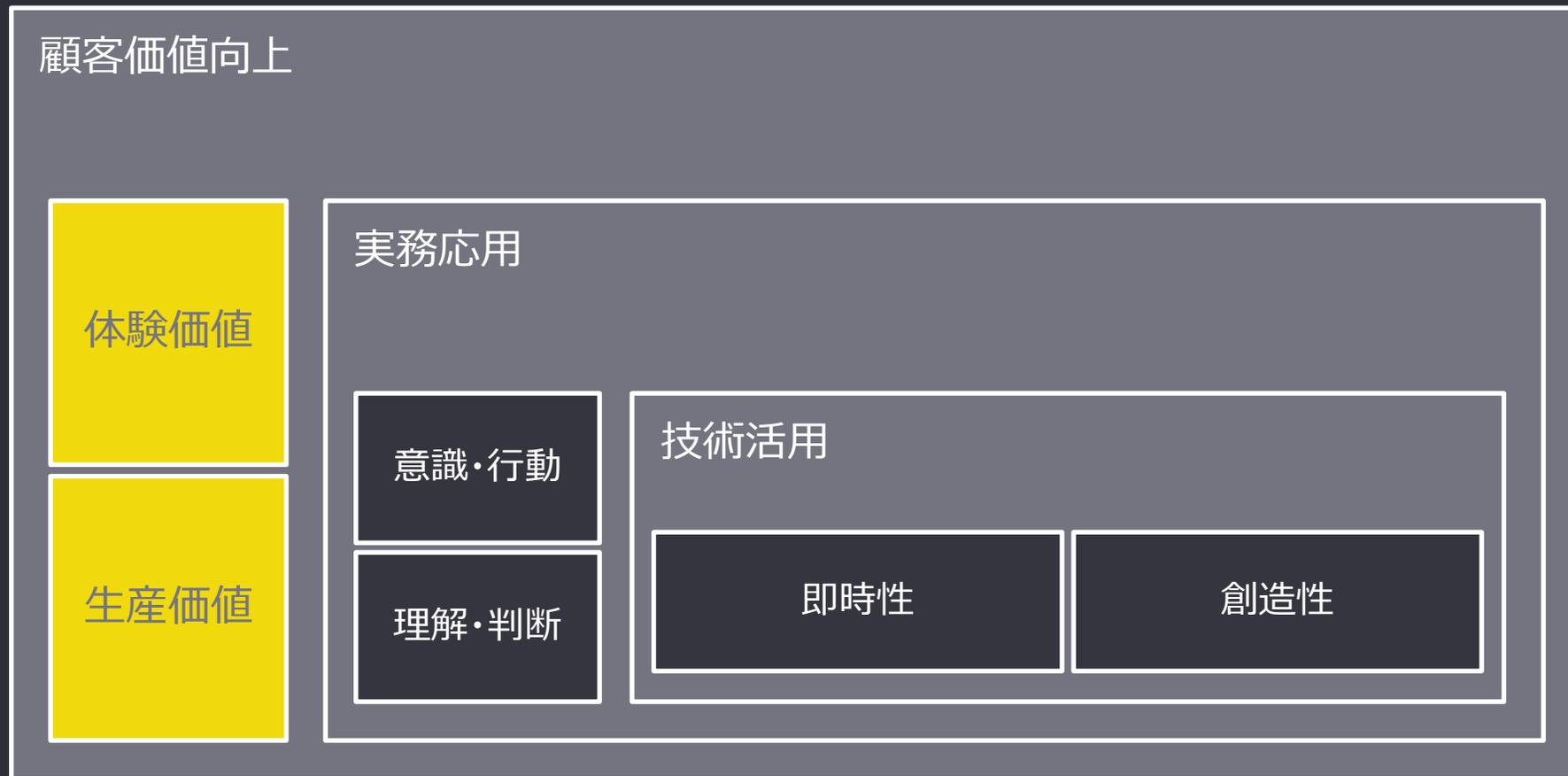
(2) 価値と影響

① 金融業界における生成AIの変革力



(2) 価値と影響

② 業務効率化と顧客体験向上への具体的なインパクト



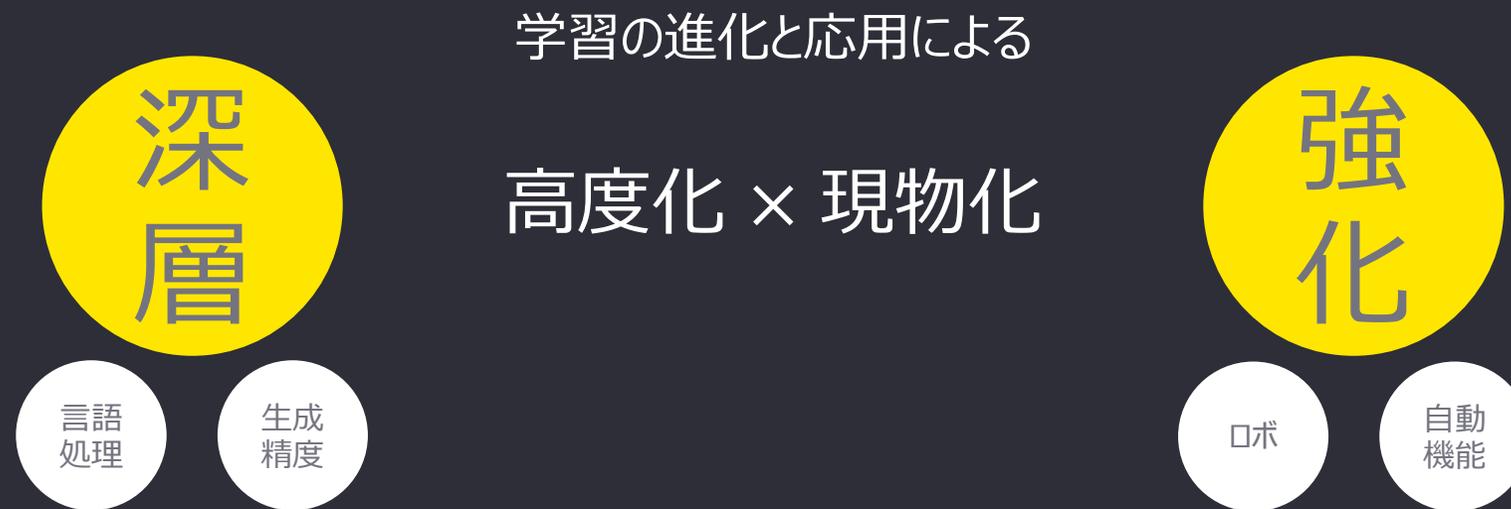
2

生成AIの最新動向と革新

- 現在とこれから

(1) 技術的進展と最新動向

① AI研究の最前線と将来の可能性



(1) 技術的進展と最新動向

②マルチモーダルAI（テキスト、画像、音声の統合）の進展

AI アドバイザー



AI Chatbot/VoC



AI 市場分析



AI Marketing



事務改革



AI リスク管理



AI ニュース解析



AI 人材育成



新サービス開発

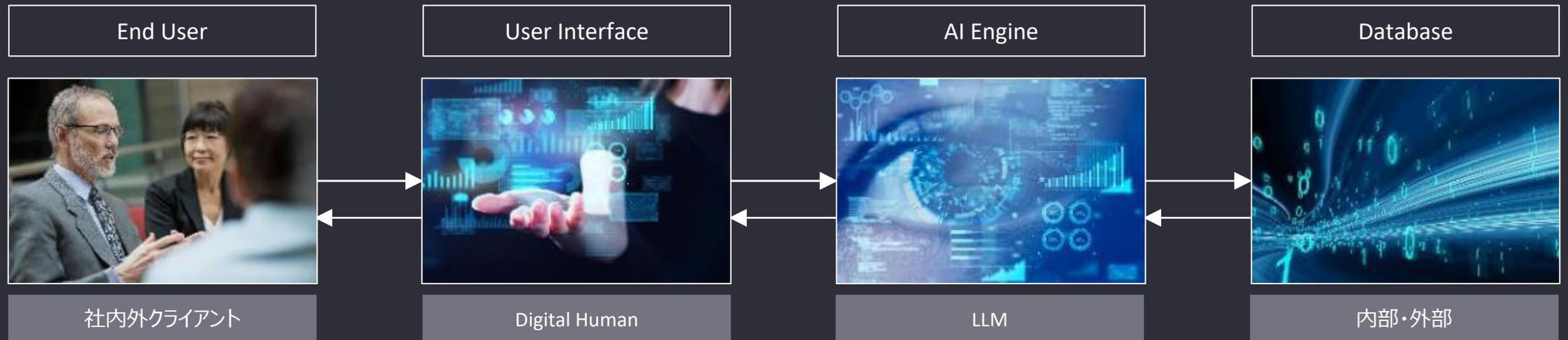


AI カルチャー変革



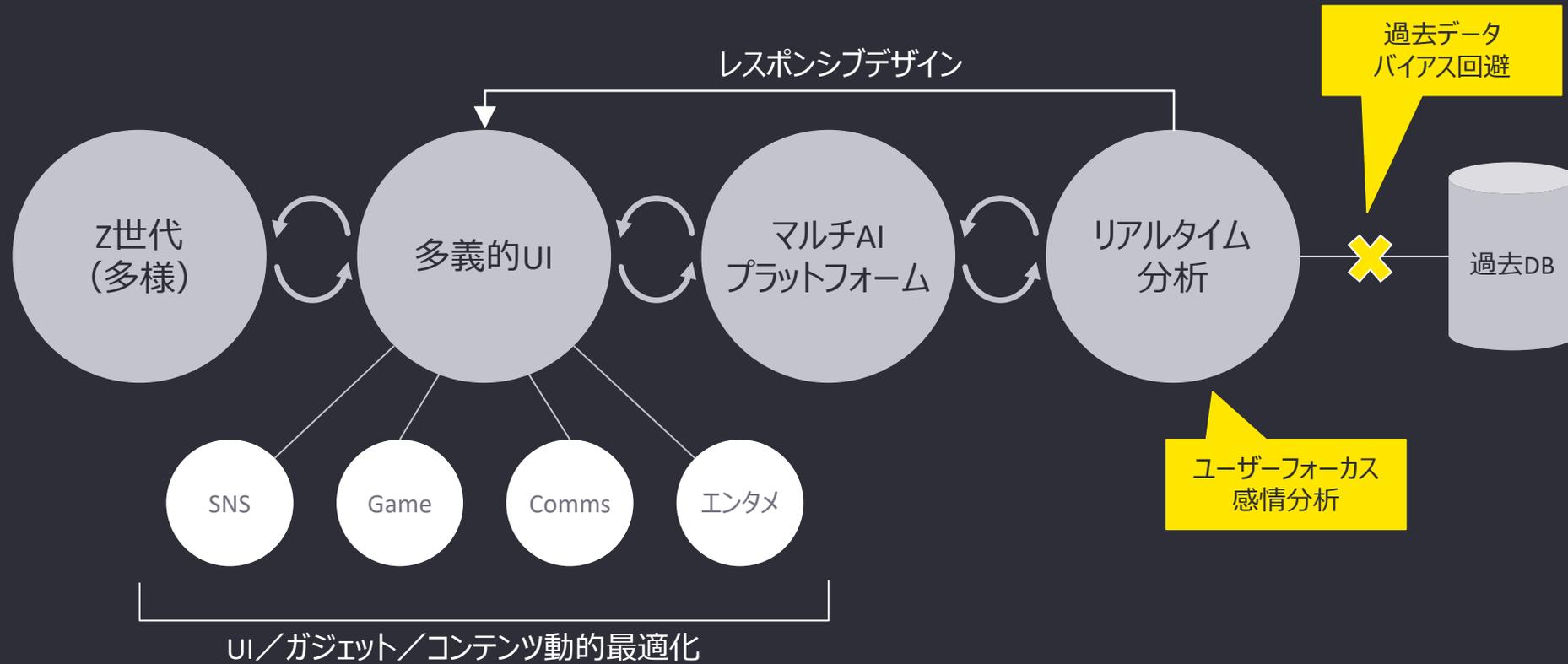
(2) 革新的な応用事例

① 高度な自然言語処理と業務自動化の新しいアプローチ



(2) 革新的な応用事例

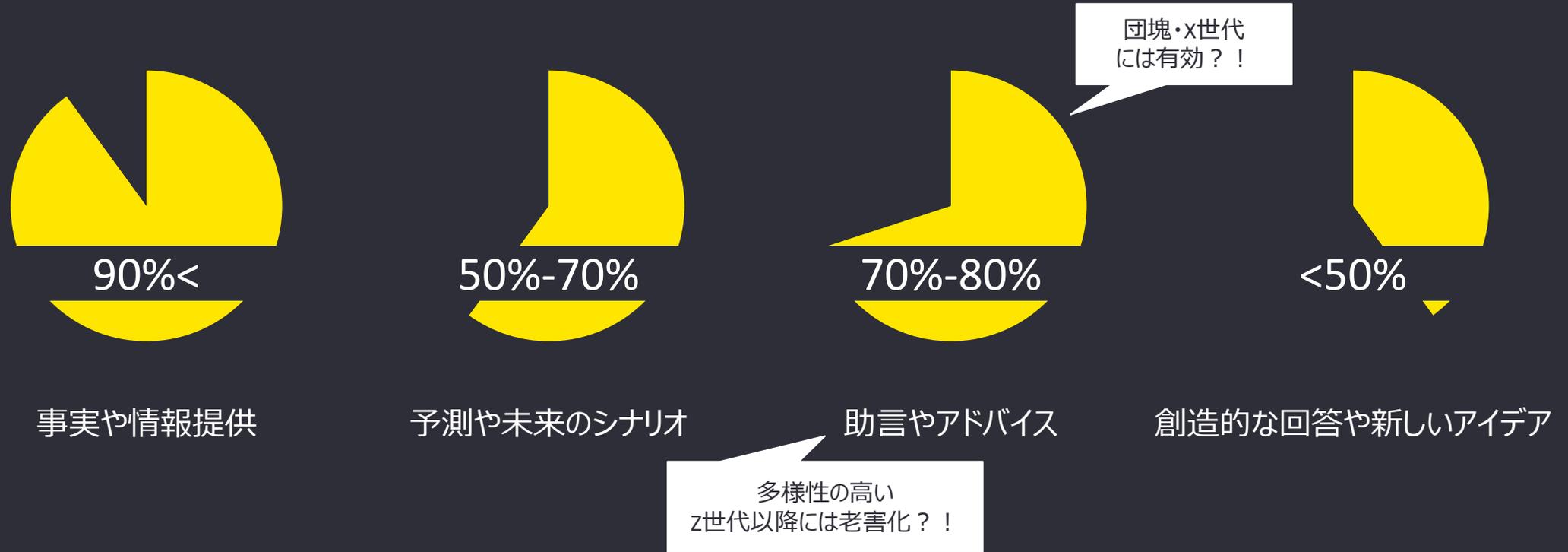
②生成AIによるクリエイティブコンテンツの生成とその応用



(2) 革新的な応用事例

参考A：使用内容により「老害化」の可能性のある生成AI回答

GPT回答の過去のデータや事例使用率



出典：GPT4oへのプロンプトによる回答を基にEY藤田通紀が作成

(2) 革新的な応用事例

参考B：UIはスマホやPC画面とは限らない

現在活用されているデバイス例

Webブラウザ



PCは一般的なUIであるのか？！

モバイルアプリ



使用頻度最多

デスクトップアプリ



スマートスピーカー



元祖AI (ANI) からAGIへ

スマートディスプレイ



既に浸透済みであり高度化に期待

ウェアラブルデバイス



モビリティとして最軽量

VR/ARデバイス



視覚からの体験に強み

Digitalサイネージ



Chatbot



IVR



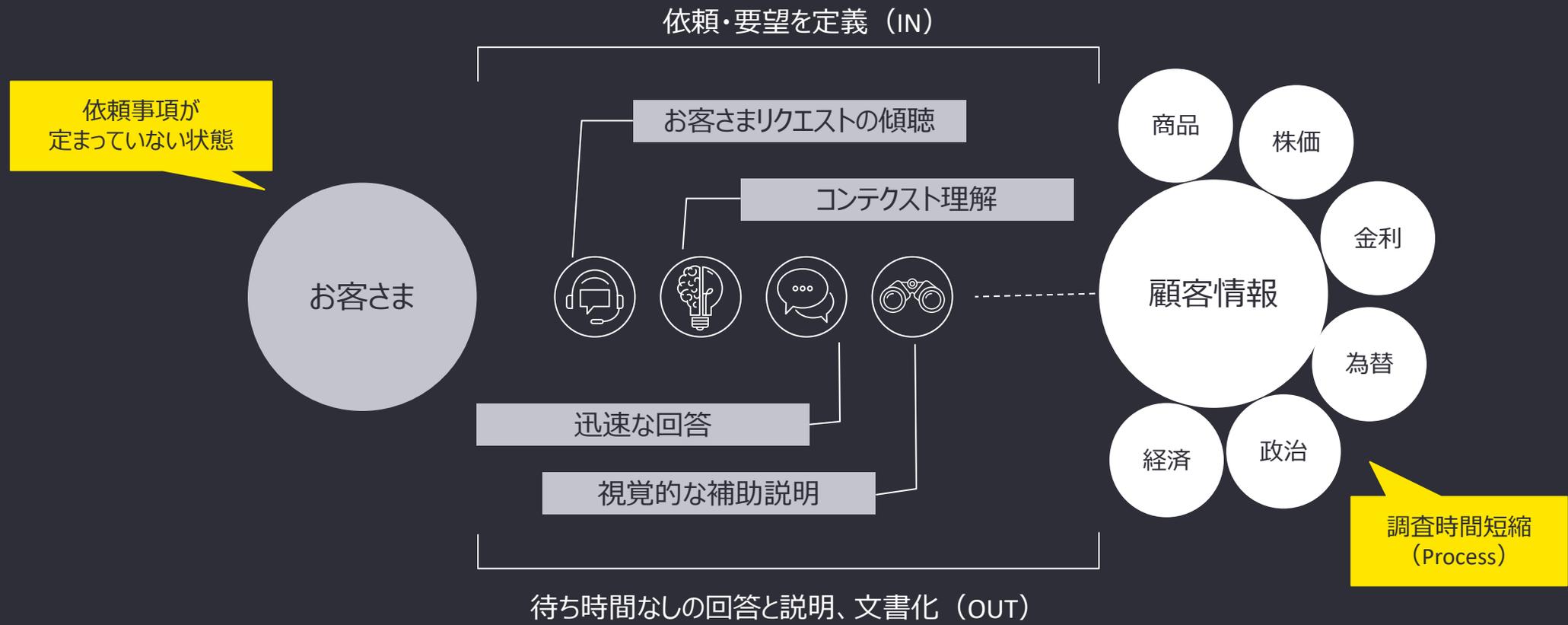
3

金融業界における生成AIの実践と導入戦略

- Ideation for innovation

(1) 最新の活用事例

①リアルタイム顧客対応の強化



(1) 最新の活用事例

② リスク管理と不正検知の高度化

人には気づきにくい不正エリアをAI活用

報告書作成時間よりも分析や対応へ比重を置く

AI加速的進化にスコアリング項目を動的管理

不正パターンの最新化が重要

リアルタイム不正検知強化	高速データ処理	異常検知高度化	非線形パターン認識
	コンテキスト分析		マルチモーダル分析
	動的ルール生成		自己学習型モデル
リスクスコアリング精緻化	多次元リスク分析		
	説明可能なAI		
	予測型リスク評価		
不正パターンシミュレーション	仮想不正シナリオ生成		
	アドバーサリアル学習		
統合リスク管理	クロスリスク分析		
	シナリオ分析高度化		

報告書自動生成

規制変更への迅速対応

(2) 生成AI導入戦略

① 目的設定と現状分析の重要性 (1/3) 全体像

1. Ideation



目的設定

2. DD(Due Diligence)



3. Design



4. PoC



現状分析

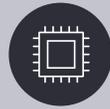
(2) 生成AI導入戦略

① 目的設定と現状分析の重要性 (2/3) 目的設定



生成AIに関する体験

「理論先行型」にならない体験教育



生成AI活用への発散

「評論家」にならないためのIdeation



導入のための簡易PoC

「理論」と「実際」を学ぶ工作



組織展開と学習

「共感」を伝える仕掛け

(2) 生成AI導入戦略

① 目的設定と現状分析の重要性 (3/3) 現状分析

1. 業務目的明示



2. 現行業務確認



3. 関係者分析



4. 業務観察



5. インタビュー



10. 最終化承認



9. レビュー



8. 要件定義



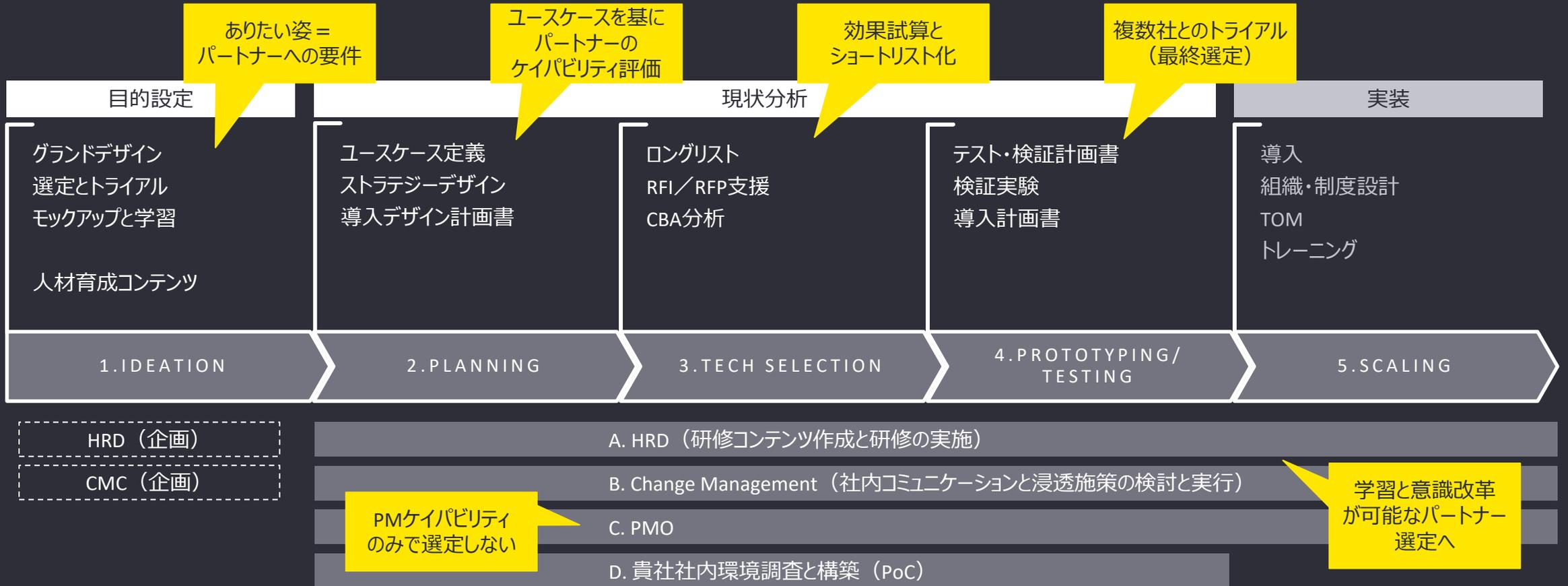
7. 業務最適化案



6. 課題発見

(2) 生成AI導入戦略

②最先端技術の選定と信頼できるパートナーの選び方



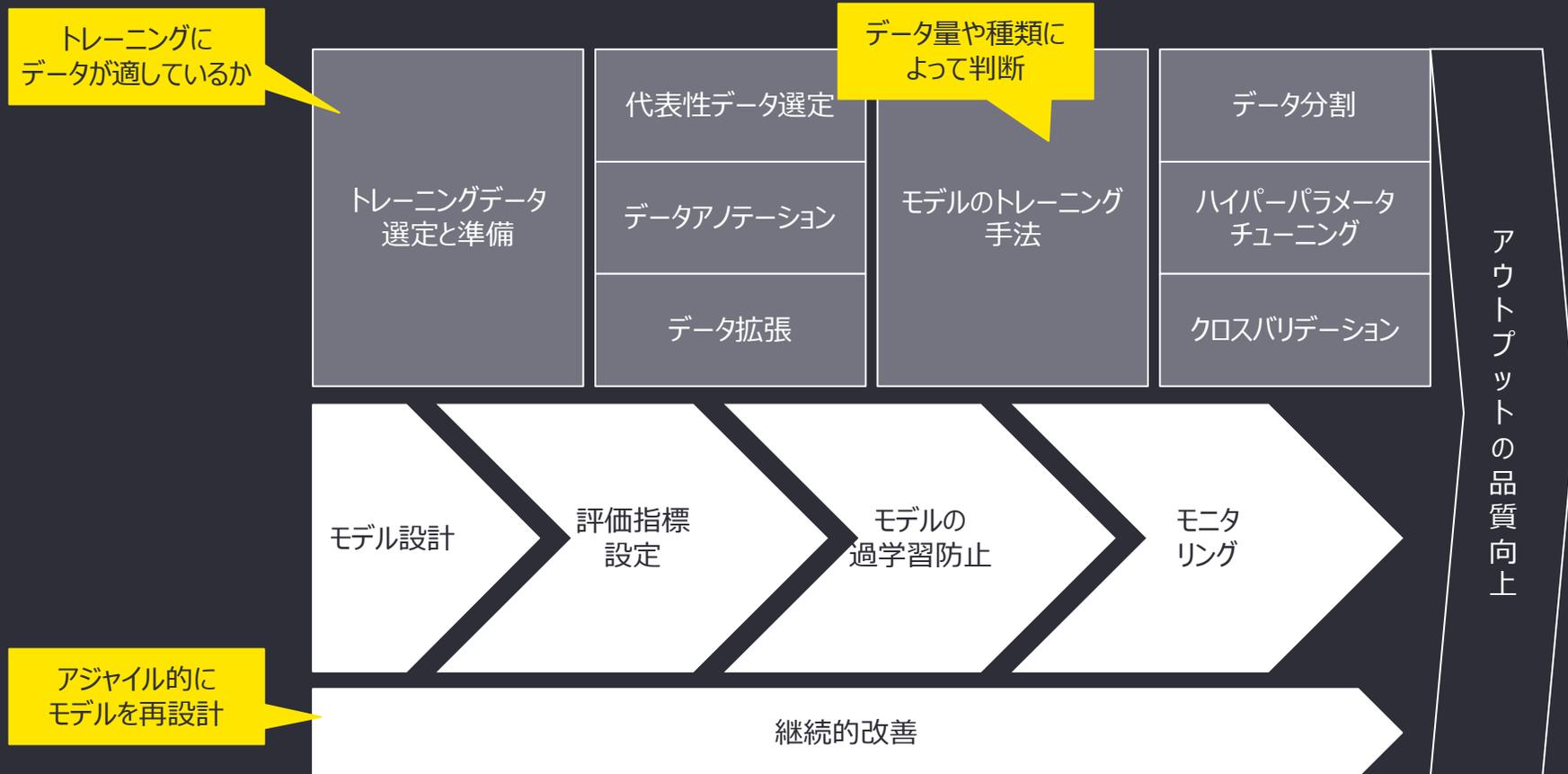
(3) 成功への鍵

①データ品質とAIモデルのトレーニング方法 (1/2) データ品質向上



(3) 成功への鍵

①データ品質とAIモデルのトレーニング方法 (2/2) AIモデル訓練



(3) 成功への鍵

②プロンプト思考の醸成と生成AIカルチャーチェンジ推進 (1/2)

テクノロジーリテラシー

最新のデジタルテクノロジーやツールに対する深い知識と理解を持ち、これを業務に応用できる能力

ビジネスへの理解

自部門だけでなく、組織全体のビジネスプロセスと目標を理解し、どのようにデジタル技術がこれを強化可能かを把握できる

コミュニケーション力

効果的なコミュニケーションスキルを用いて、他部門やステークホルダーに対して説得力を持ってデジタル変革のビジョンを伝え、支持を集めることができる



プロジェクトマネジメント

複数のプロジェクトを同時に管理し、リソースを効率的に配分し、プロジェクトを時間内に、予算内で成功に導く能力

問題解決力

複雑な問題に直面した際に、創造的かつ効率的な解決策を提案し、実行する能力。特に新技術を活用した革新的なアプローチが求められる

持続的学習と適応

デジタル技術は日進月歩で進化するため、新しいトレンドや技術に対して常に学び、適応し続ける意欲と能力

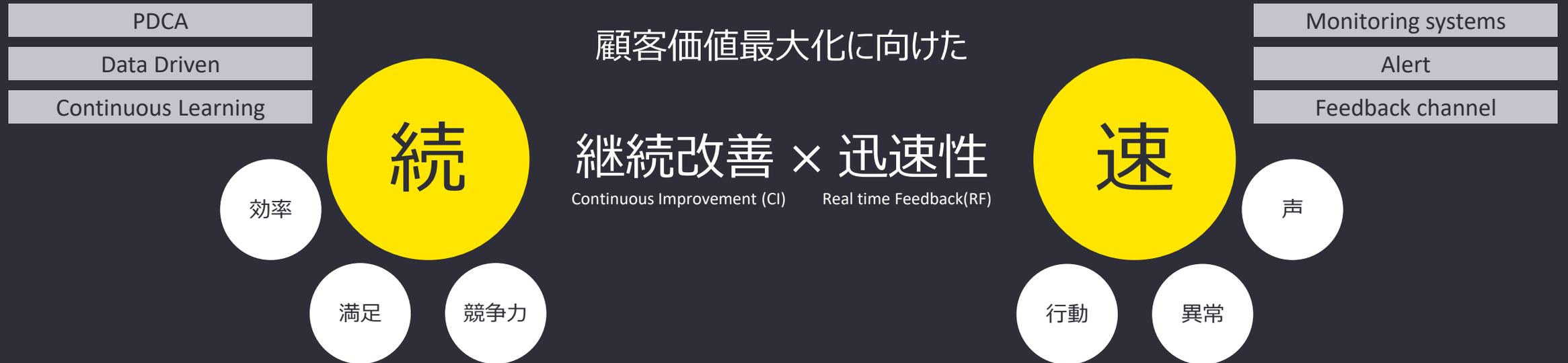
(3) 成功への鍵

②プロンプト思考の醸成と生成AIカルチャーチェンジ推進 (2/2)



(3) 成功への鍵

③ 継続的な改善とリアルタイムフィードバックの重要性



(3) 成功への鍵

参考C：生成AI活用レディネスチェックシート（10項目）

□ データインフラの整備

- 高度なデータ管理とストレージシステムを備えているか
- データセキュリティ対策が適切に行われているか

□ データの質とアクセス

- 生成AIのトレーニングに必要な高品質なデータが利用可能か
- データの収集、クレンジング、タグ付けが行われているか

□ 法規制の順守

- データプライバシー法や業界規制を順守するためのプロセスが整備されているか
- 生成AIの利用に関する法的リスクが評価されているか

□ 技術的基盤

- 生成AIのモデルを実行するための必要な計算資源（GPUやクラウドインフラなど）が整備されているか
- AIモデルのデプロイメントと運用のための環境が整っているか

□ 専門知識の確保

- 生成AI開発と運用に必要なスキルを持つ人材が確保されているか
- 継続的な教育とトレーニングプログラムが用意されているか

□ パートナーシップとベンダー選定

- 信頼できる生成AI技術のパートナーやベンダーが選定されているか
- ベンダーとの契約が適切に管理されているか

□ リスク管理とガバナンス

- 生成AIの利用に伴うリスクを評価し、管理するためのフレームワークが存在するか
- ガバナンスと監査のプロセスが整備されているか

□ 倫理と透明性

- 生成AIの運用における倫理ガイドラインが設定されているか
- AIモデルの決定プロセスの透明性を確保するためのメカニズムが存在するか

□ ユーザーエクスペリエンスの設計

- 顧客向けの生成AIサービスのUX/UIが設計されているか
- 顧客フィードバックを反映するためのプロセスが整備されているか

□ パフォーマンスの評価とモニタリング

- 生成AIのパフォーマンスを評価するための指標が設定されているか
- 継続的なモニタリングと改善のためのプロセスが整備されているか

本資料へのお問い合わせ先

EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社
金融サービス・ストラテジー

〒100-0006

東京都千代田区有楽町一丁目1番2号 東京ミッドタウン日比谷 日比谷三井タワー

パートナー

藤田 通紀 *Michinori Fujita*

Email: michinori.fujita@jp.ey.com





藤田 通紀 (Michinori Fujita)

経歴

- 2023年2月にEYストラテジー・アンド・コンサルティング 金融サービス・ストラテジーのパートナーに就任。
- 金融機関でキャリアをスタートさせ、2000年よりバンカシュアランスビジネスの立ち上げでファンド分析、金融マーケティング、営業企画・推進等をリード。また現代投資理論を中心とした金融講座、行動ファイナンスを応用した研修を銀行・証券会社向けに提供する教育のリードも務めた。
- 海外留学を経て外資系コンサルティング会社にて金融機関向けのビジネストラנסフォーメーションやチェンジマネジメント・リスキングなどをデザイン・実行。保険・メガバンクの業務効率化や大手生保のバックオフィス改革等を構想戦略から実行まで担当。また幅広い実務経験から関連する知識・経験を生かし新聞・雑誌への執筆、講演会での発表などを行う。
- 2020年には外資系テクノロジー企業にてデジタルコンサルティングの統括パートナーとして日本・アジアパシフィック・米国・EMEAの大規模デジタルトランスフォーメーションの実行、また2021年には外資系ITコンサルティングの保険インダストリーリードおよび保険ソートリーダーとして各C-level向けのアドバイザリーとインサイトを提供する実務家であり有識者でもある。
- 現在は未来の金融機関の在り方について最新テクノロジーが人類に与える影響についての幅広い知見からの示唆を世の中に提供。多くの企業とIdeation sessionを通じた「新しい価値やスタイルの創造」に向けた活動に注力している。

専門

- 現代投資理論 / 行動経済学 / 金融サービスストラテジー / ビジネストラנסフォーメーション・デザイン / デジタルイノベーション / デザイン & アートシンキング / 組織・チェンジマネジメント / 生成AIストラテジー

学会

- 日本ファイナンス学会正会員
- 行動経済学会正会員

直近の主なプロジェクト

- 金融機関：デジタルストラテジーとしてのCDO向けアドバイザリー
- 金融機関：最新テクノロジーを活用した新商品・新サービスデザイン
- 監査法人：テクノロジーを活用したビジネストラנסフォーメーションデザイン
- 芸能事務所：適正化のための組織・人事・チェンジマネジメント戦略（社長・副社長支援）

EY Japan FS Marketing Segment Board Member (Strategy)

EY APAC Gender Equity Taskforce Japan リーダー

EYストラテジー・アンド・コンサルティング 金融サービス Field of Play (FoP) リーダー

EYストラテジー・アンド・コンサルティング 金融サービス・ストラテジー パートナー

- 製造業：グローバルデジタルトランスフォーメーション+チェンジマネジメント (+M&A)
- サービス業：経営戦略デザイン+チェンジカルチャーイニシアチブ
- 人材業：経営戦略デザイン+テクノロジーを働き方改革イニシアチブ
- 製薬業：事業分割およびチェンジカルチャーイニシアチブ (上海)
- 金融機関：自動化技術を活用したメガバンク業務 (プロセス) 効率化
- IT企業：空間デザイン+チェンジマネジメントイニシアチブ
- 金融機関：SSC/BPOを含むバックオフィストラנסフォーメーション+イメージワークフロー
- 金融機関：BCPを考慮した新契約事務フローのデザイン・実行 他多数

近著

- 金融機関の生成AIの活用とFintechの加速化への貢献
- 生成AIの進化とその金融業界への影響：シンギュラリティへの道と最適な活用戦略
- 生成AIが金融業界に与える影響
- Future of Insurers 2045
- 「ロボットは仕事を奪うのか？」-デジタルとの共存による「攻めの働き方改革」のススメ
- Workforce of the Future 2030「働き方改革」の未来予想
- パフォーマンスの原動力：2020年以降の人的資本
- 競争優位戦略としての学習する組織
- 日本の保険会社はデジタル化への備えはできているか？
- 勝ち残る保険会社の条件—しなやかな組織への改革
- 戦略的SSC/BPOアプローチ 等、雑誌・企業ウェブサイトへの執筆・執筆多数

学歴

- 英国ウォーリック大学ウォーリック・マニファクチャリング・グループ (工学) 理学修士
- 英国エクセター大学ポストグラディエート・ディプロマ (ファイナンス)
- 英国ウェールズ大学MBA (経営学修士)

(つづき)

生成AIに関する直近の講演



基調講演 FIT東京フォーラム 2023.11

- AI時代のデータ活用と業務変革
金融サービスを変革する生成AIのマルチモーダルな活用への考察



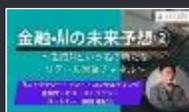
基調講演 FIT大阪フォーラム 2023.11

- AI時代の金融データ活用
金融サービスを変革する生成AIのマルチモーダルな活用への考察



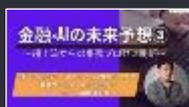
収録講演 The Academy 2023.10

- 金融×AIの未来予想① ～生成AIが金融サービス与える衝撃～



収録講演 The Academy 2023.10

- 金融×AIの未来予想② ～生成AIという名の新たなリテール営業チャネル～



収録講演 The Academy 2023.10

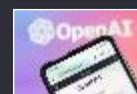
- 金融×AIの未来予想③ ～超上流からの事務プロセス刷新～



収録講演 The Academy 2023.10

- 金融×AIの未来予想④ ～プロンプト思考とAI人財育成～

生成AIに関する直近の執筆



執筆 FinTech Journal 2023.8

- 生成AIで加速するフィンテック、金融機関が注目すべき「最大の利点」とは？



執筆 The Finance 2023.9

- 生成AIの進化とその金融業界への影響：シンギュラリティへの道と最適な活用戦略



執筆 月間金融ジャーナル 2023.9

- 金融と生成AI「生成AIが金融業界に与える影響」求められる新たなスキルとリテラシー



執筆 EY.com 2024.3

- 金融機関における生成AI活用戦略。アイディエーションで試される人間の本質的な価値とは



執筆 Landscape 2024.4

- 銀行における生成AI活用とチェンジマネジメントの重要性

生成AIに関する直近のプロジェクト



実績 デジタルヒューマン×生成AI構想策定～PoC実施支援

- デジタルヒューマンとGPTを活用した対話型顧客サービススキームのデザインとPoC実施



実績 生成AIを活用したPoC企画書作成 (Ideation for Innovation)

- 生成AI研修～PoC企画書作成 (生成AIによる作成) の2カ月間の教育・企画支援プログラムの実施

EY | Building a better working world

EYは、「Building a better working world ～より良い社会の構築を目指して」をパーパス（存在意義）としています。クライアント、人々、そして社会のために長期的価値を創出し、資本市場における信頼の構築に貢献します。

150カ国以上に展開するEYのチームは、データとテクノロジーの実現により信頼を提供し、クライアントの成長、変革および事業を支援します。

アシュアランス、コンサルティング、法務、ストラテジー、税務およびトランザクションの全サービスを通して、世界が直面する複雑な問題に対し優れた課題提起（better question）をすることで、新たな解決策を導きます。

EYとは、アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドのグローバルネットワークであり、単体、もしくは複数のメンバーファームを指し、各メンバーファームは法的に独立した組織です。アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドは、英国の保証有限責任会社であり、顧客サービスは提供していません。EYによる個人情報の取得・利用の方法や、データ保護に関する法令により個人情報の主体が有する権利については、ey.com/privacyをご確認ください。EYのメンバーファームは、現地の法令により禁止されている場合、法務サービスを提供することはありません。EYについて詳しくは、ey.comをご覧ください。

EYのコンサルティングサービスについて

EYのコンサルティングサービスは、人、テクノロジー、イノベーションの力でビジネスを変革し、より良い社会を構築していきます。私たちは、変革、すなわちトランスフォーメーションの領域で世界トップクラスのコンサルタントになることを目指しています。7万人を超えるEYのコンサルタントは、その多様性とスキルを生かして、人を中心に据え（humans@center）、迅速にテクノロジーを実用化し（technology@speed）、大規模にイノベーションを推進し（innovation@scale）、クライアントのトランスフォーメーションを支援します。これらの変革を推進することにより、人、クライアント、社会にとっての長期的価値を創造していきます。詳しくはey.com/ja_jp/consultingをご覧ください。

EYストラテジー・アンド・トランザクションについて

EYストラテジー・アンド・トランザクションは、クライアントと共に、そのエコシステムの再認識、事業ポートフォリオの再構築、より良い未来に向けた変革の実施を支援し、この複雑な時代を乗り切る舵取りを支えます。グローバルレベルのネットワークと規模を有するEYストラテジー・アンド・トランザクションは、クライアントの企業戦略、キャピタル戦略、トランザクション戦略、ターンアラウンド戦略の推進から実行までサポートし、あらゆるマーケット環境における迅速な価値創出、クロスボーダーのキャピタルフローを支え、マーケットに新たな商品とイノベーションをもたらす活動を支援します。EYストラテジー・アンド・トランザクションは、クライアントが長期的価値をはぐくみ、より良い社会を構築することに貢献します。詳しくは、ey.com/ja_jp/strategy-transactionsをご覧ください。

© 2024 EY Strategy and Consulting Co., Ltd.

All Rights Reserved.

ED MMY

本書は一般的な参考情報の提供のみを目的に作成されており、会計、税務およびその他の専門的なアドバイスを行うものではありません。EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社および他のEYメンバーファームは、皆様が本書を利用したことにより被ったいかなる損害についても、一切の責任を負いません。具体的なアドバイスが必要な場合は、個別に専門家にご相談ください。

ey.com/ja_jp

